

子どものやせに関わる 学校・医療現場の方々のための Eラーニング

Eラーニング実施期間 2023年4月~2024年12月

不健康やせから子どもたちを守るために
やせた子どもの健康状態の評価や
学校保健室・一般医療機関での
プライマリケアなどについて学びませんか？



▼ 詳細は以下HPで！

<https://prevent-unhealthy-thinness.jp/>



5つのコンテンツをご紹介します

- 1 やせと健康障害
- 2 やせをきたす疾患・病態
- 3 学校保健室での対応
- 4 一般小児科での対応
- 5 専門施設(小児精神科)での対応
(主に神経性やせ症に対する対応)



小児期・思春期のやせによる健康障害予防プロジェクト

イラスト：粟津 緑

不健康やせから 子どもを守ろう!

やせによる健康障害は全身に多様にあらわれ、成長期子どもたちに生じると、将来にわたり大きな影響が残ります。私たちは、やせによる健康障害を早期発見あるいは予防するための概念として、‘不健康やせ’を提唱します。‘不健康やせ’とは、すでにやせによる健康障害がある、あるいはそのまま放置するとやせによる健康障害を生じる可能性がある状態です。その時点では疾患として診断できなくても、心理的要因を含む何らかの生活習慣がやせの原因や経過に影響を与えている可能性があり、少なくとも経過観察が必要です。神経性やせ症の予備軍やスポーツによるやせ(アスリート)なども含まれます。

‘不健康やせ’から子どもたちを守るには、特にプライマリケアに携わる学校関係者および医療関係者の力が必須です。学校現場や一般小児科などの医療現場において、速やかに‘不健康やせ’の早期発見あるいは予防のための介入ができれば、子どもたちの心身の健やかな成長を守ることができます。一緒に‘不健康やせ’から子どもを守りませんか？



小児期・思春期の
やせによる健康障害予防プロジェクト事務局
慶應義塾大学医学部小児科学教室 / 慶應義塾大学保健管理センター*

代表 井ノ口美香子*

長谷川奉延、石井智弘、本田美紗、長島由佳*(小児内分泌学)
鶴田夏子、香取奈穂、中村俊一郎、馬場徹人(小児精神保健学)
本実谷貴久(総合小児科学)